

桐生纖維業界の実態

平成15年1月～12月

桐生市纖維振興協会

桐生市纖維業界の概要

平成15年12月末現在

1.	調査対象団体数	15団体 (桐生商工会議所纖維部会除く)
2.	産地収入 (1) 生産高	209億0,164万円
	(2) 加工収入高	21億6,109万円
	(3) 販売高	78億5,500万円
	計	309億1,773万円
	※退会組合の収入 (前年比92%)	36億8,232万円
	計	346億0,005万円 (前年対比 (%) 92)
3.	組合員数 (事業所)	421事業所
4.	総従業員数 (家族従業員含む)	2,964人
5.	一時事業所当たり従業員数	7人
6.	一時事業所当たり生産販売加工高	7,344万円
7.	年度別産地収入高	
	昭和54年産地収入	1,078億1,166万円
	" 55年	1,170億6,380万円 (前年対比 (%) 109)
	" 56年	1,110億8,757万円 (前年対比 (%) 95)
	" 57年	1,083億3,093万円 (前年対比 (%) 98)
	" 58年	1,023億 634万円 (前年対比 (%) 94)
	" 59年	976億1,960万円 (前年対比 (%) 95)
	" 60年	917億1,760万円 (前年対比 (%) 94)
	" 61年	853億4,182万円 (前年対比 (%) 93)
	" 62年	804億5,848万円 (前年対比 (%) 94)
	" 63年	783億8,548万円 (前年対比 (%) 97)
	平成元年	841億7,076万円 (前年対比 (%) 107)
	" 2年	931億1,687万円 (前年対比 (%) 111)
	" 3年	908億7,740万円 (前年対比 (%) 98)
	" 4年	1,001億1,232万円 (前年対比 (%) 110)
	" 5年	893億2,611万円 (前年対比 (%) 89)
	" 6年	845億3,438万円 (前年対比 (%) 95)
	" 7年	733億6,672万円 (前年対比 (%) 87)
	" 8年	678億3,478万円 (前年対比 (%) 92)
	" 9年	616億9,017万円 (前年対比 (%) 91)
	" 10年	528億4,669万円 (前年対比 (%) 86)
	" 11年	473億6,503万円 (前年対比 (%) 90)
	" 12年	444億7,222万円 (前年対比 (%) 94)
	" 13年	416億8,724万円 (前年対比 (%) 94)
	" 14年	376億2,047万円 (前年対比 (%) 90)

※ 本調査は、桐生市纖維振興協会の加盟団体を対象に作成しております。なお、団体の加盟及び脱会により調査の対象が変わるために、前年対比は参考数字とさせていただきますので、予めご了承ください。

1. 組合員数及び従業員数

所 属 団 体	組合員数 事 業 所	従 業 員 数					従 業 員 平均年齢	
		従 業 員		家 族 従 業 員		計		
		男 性	女 性	男 性	女 性			
桐生織物協同組合	広幅協議会	107	201人	194人	98人	276人	769人 54歳	
	内地協議会	79	282	456	86	98	922 57	
桐 生 織 物 產 地 元 売 組 合		6	8	5	5	5	23 48	
桐 生 染 色 協 同 組 合		19	87	15	10	8	120 53	
桐 生 纖 維 製 品 協 同 組 合		27	110	254	10	14	388 45	
桐 生 糸 商 組 合		13	30	16	13	10	69 49	
東 日 本 編 レース 工 業 組 合		13	24	15	23	17	79 51	
桐 生 意 匠 組 合		15	4	4	5	7	20 47	
桐 生 紋 紙 組 合		15	12	3	18	14	47 54	
東毛ジャカード刺繡協同組合		10	14	20	11	13	58 44	
桐 生 刺 繡 商 工 業 協 同 組 合		42	74	120	72	68	334 55	
桐 生 織 物 買 繼 商 友 会		12	6	3	12	9	30 57	
シルク・ルネッサンス桐生	(5					0)		
桐生テキスタイル商業グループ	7	26	17			43	41	
桐 生 織 伝 統 工 芸 士 会	(42					0)		
桐 生 和 服 裁 縫 組 合	56	0	58	1	3	62	45	
計	421	878	1,180	364	542	2,964		

- 注 (1) 平成 7年1月13日 群馬県綿スフ織物工業組合 解散し退会。
(2) 平成 7年5月17日 桐生織伝統工芸士会 入会。
(3) 平成10年3月31日 両毛輸出織物整染工業組合 解散し退会。
平成10年3月31日 両毛輸出スカーフ組合 解散し退会。
平成10年3月31日 桐生織物商業組合 解散し退会。
(4) 平成10年4月 1日 桐生和服裁縫組合 入会。
(5) 平成11年3月31日 桐生金銀糸協同組合 解散し退会。
(6) 平成12年3月31日 桐生撚糸工業組合 解散し退会。
(7) 平成13年3月31日 桐生織物整経協同組合 解散し退会。

※ シルク・ルネッサンス桐生、桐生織伝統工芸士会は、他の組合と重複しているので計算に含めておりません。

2. 生産、加工高及び受注（出荷）先区分（工業部門）

所 属 団 体	生 产 高 (万円)	加 工 高 (万円)	計 (万円)	前 年 対 (%)	取引先区分 (%)	
					県 内	県 外
桐生織物協同組合	広幅協議会	542,631	52,882	595,513	90	0 100
	内地協議会	425,943	0	425,943	98	0 100
桐 生 染 色 協 同 組 合	0	80,287	80,287	74	52	48
桐 生 纖 維 製 品 協 同 組 合	695,052	28,160	723,212	90	0	100
桐 生 刺 繡 商 工 業 協 同 組 合	43,310	46,320	89,630	132	98	2
東 日 本 編 レース 工 業 組 合	120,500	0	120,500	84	63	37
桐 生 意 匠 組 合	12,844	0	12,844	95	84	16
桐 生 紋 紙 組 合	10,356	0	10,356	79	87	13
東毛ジャカード刺繡協同組合	49,128	0	49,128	97	0	100
桐生テキスタイル商業グループ	190,400	0	190,400	80	100	0
桐 生 和 服 裁 縫 組 合	0	8,460	8,460	90	90	10
計	2,090,164	216,109	2,306,273	91	18	82

3. 販売高及び出荷先区分（商業部門）

所 属 団 体	販 売 高 (万円)	前年対比 (%)	取 引 先 区 分		
			桐生市内	県 内	県 外
桐 生 織 物 產 地 元 売 組 合	96,000	104	5	5	90
桐 生 糸 商 組 合	641,000	95	61	8	31
桐 生 織 物 買 繼 商 友 会	48,500	100	0	0	100
計	785,500	96	50	7	43

4. 内需向、輸出向区分

所 属 団 体	内 需 向		輸 出 向		計 (万円)
	金 額 (万円)	割合(%)	金 額 (万円)	割合(%)	
桐生織物協同組合 広幅協議会	537,013	90	58,500	10	595,513
桐 生 染 色 協 同 組 合	77,879	97	2,408	3	80,287
桐生纖維製品協同組合	723,212	100	0	0	723,212
桐生刺繡商工業協同組合	89,630	100	0	0	89,630
東日本編レース工業組合	118,500	98	2,000	2	120,500
桐 生 意 匠 組 合	12,779	99	65	1	12,844
東毛ジャカード刺繡協同組合	49,128	100	0	0	49,128
桐生織物買継商友会	48,500	100	0	0	48,500
桐生テキスタイル商業グループ	190,400	100	0	0	190,400
桐 生 紋 紙 組 合	10,356	100	0	0	10,356
計	1,857,397	97	62,973	3	1,920,370

5. 各団体の取扱品目

品 目 所属団体	品 目 割 合 (%)					
	服 地	インテリア・資 材	ネクタイ	そ の 他		
桐生織物協同組合 (広幅協議会)	55	30	9	6		
桐生織物協同組合 (内地協議会)	70	13	11	6		
桐生織物産地元売組合	70	10	5	6	9	
桐生染色協同組合	60	26	6	8		

品 目 所属団体	品 目 割 合 (%)				
	ブラウス	ニット	ス ーツ	ジャケット	そ の 他
桐生纖維製品協同組合	69	13	5	3	10
桐生糸商組合	化 合 織 レーヨン	綿・スフ	絹・その他		
	61	25	9	5	
東日本編レース工業組合	インテリア	衣 料	資 材		
	75	16	9		
桐生意匠組合	金 櫛	インテリア	洋 反	帶	そ の 他 (輸出含)
	37	20	29	13	1
桐生紋紙組合	紋 紙	エンドレス ペーパー	フロッピー (直織式)		
		100			
東毛ジャカード刺繡協同組合	ワッペン	Tシャツ	ワンポイント 刺 繡	トレーナー	そ の 他
	40	10	15	18	17
桐生刺繡商工業協同組合	婚 礼 衣 裳	婚 礼 加 工	ブ ラ ウ ス ニット加工	ハンカチーフ 加 工	雜 貨
	40	10	15	18	17
桐生織物買継商友会	帶	二 次 製 品	着 尺	そ の 他	
	81	14	1	4	
桐生テキスタイル商業グループ	服 地				
	100				
桐生和服裁縫組合	きもの全般	帶	長 機 衿	コート・羽織	そ の 他
	50	25	20	3	2

6. 生産加工部門の現有設備状況

所属団体	設備名	数量	所属団体	設備名	数量
桐生織物(協) (内地協議会)	広幅織機	91	東毛ジャカード 刺繡(協)	コンピュータミシン	50
	並幅織機	936		プレス	14
	小幅織機	163		本縫いミシン及びその他の機械	40
	自動・レピア織機	206		プリント用製版	4
	計	1,396		計	108
桐生織物(協) (広幅協議会)	普通織機	1,040	桐生意匠組合	デザインシステム	32
	自動織機(片レピア含)	250		拡大機	5
	超自動(レピア)	414		コピー機	14
	計	1,704		計	51
桐生染色(協)	常圧噴射式染色機	85	桐生紋紙組合	デザインシステム	28
	高圧噴射式染色機	30		カードパンチ	15
	汎用染色機	35		横彫カットエンドレス	20
	チーズ及びケーキ染色機	43		ワンパンチ	13
	計	193		計	76
桐生繊維製品(協)	縫製ミシン	460	桐生刺繡商工業(協)	横振りミシン	80
	プレス	24		多頭式刺繡機	370
	裁断機	24		計	450
	計	508			
東日本編レース(工)	ジャカード落下板付きラッシュル機	28			
	ジャカード落下板付きコンピュータ機	7			
	チェーンラッシュル機	50			
	チェーンラッシュルコンピュータ機	8			
	計	93			

7. 最近の推移（15年10月～16年2月）

団体名	品目	受注・引合の状況				販売(加工)単価の状況			
		増	変らず	下降	前年対比(%)	増	変らず	下降	前年対比(%)
桐生織物協同組合	広幅協議会			○	90			○	90
	内地協議会			○	90			○	90
桐生織物产地元売組合		○			104			○	98
桐生染色協同組合			○		80		○		100
桐生纖維製品協同組合			○		90			○	90
桐生糸商組合			○		95		○		100
東日本編レース工業組合			○		80			○	85
桐生意匠組合			○		95			○	90
桐生紋紙組合			○		75		○		100
東毛ジャカード刺繡協同組合			○		97			○	99
桐生刺繡商工業協同組合			○		85			○	85
桐生織物買継商友会		○			100		○		100
桐生テキスタイル商業グループ			○		80			○	90
桐生和服裁縫組合			○		90			○	90
計		2	12				4	10	

8. 平成15年（1月～12月）の状況、事業概要及び今後の課題

桐生織物協同組合

商品、消費者のニーズの変化について

国内繊維市場は、成熟しきっているので中途半端な物は売れなくなっている。

市場も高級品とそうでない物と2極化し、和洋を問わず軽い感覚の物に需要は変化している。

状況、事業概要

ニーズ変化もあり、また、市況の停滞で和洋部門を問わず低迷し、洋部門、特に輸出関連も厳しく、内需関連も受注ロットの減、価格面がきつく厳しかった。和部門は帯地関係のゆかた関連の帶が比較的好調で全体として微減に留まった。

今後の課題

今後も中国中心の生産体制、価格は破壊減少が続くと思われる所以、产地の蓄積された技術を生かした特化した商品作り、コストダウンを図っていくことが必要である。

桐生織物産地元売組合

商品、消費者のニーズの変化について

物あまりの時代を反映して、従来の商品に工夫を加えないと売れないようになった。

具体的には、品質が良くてリーズナブルの価格であるもの、利便性が従来のものより優れているもの。色・柄が今までにない斬新さがあるものとか、何か他の製品と差別化できる商品を消費者は求めている。

状況、事業概要

平成15年度は大型倒産も少なく、やや景気の回復が期待できる年になった感があるが、和装業界においては消費者のきもの離れは年々増えている。

但し、夏の浴衣に関しては、ユニクロで7～8万枚を販売したりして、低年層の浴衣に対する関心が高くなり、販売価格は下げたが、今後に期待を持つことができた年であった。

今後の課題

最近の小売市場は商店街中心から、スーパー、大型店、チェーン店、通信販売、コンビニと消費の流れが変化してきている。

この傾向は今後も続くと思う。和装業界をとりまく環境は厳しいものもあるが、消費者のきもの離れをきもの愛好家に変えることが出来るかが大きな問題である。

そのためには、買い求めやすい良品を提供できるようにする企業努力と流通の簡素化、若年層への取り組みが必要である。

桐生染色協同組合

商品、消費者のニーズの変化について

今年も引き続き後染品が主力、先染品は一部を除き厳しい状況であった。

状況、事業概要

服地用、和服用ともに加工量、金額減少、受注加工の減少から当組合内では大手の企業が退会、廃業し厳しい状況であった。また、従業員も大幅に減少した

今後の課題

群馬県繊維工業試験場の指導を受け、さらに地場産業振興センター・新商品開発の支援を受け開発した「シルクプロテイン加工品」の生産体制、販売網の確立に期待する。

桐生繊維製品協同組合

商品、消費者のニーズの変化について

海外製品の輸入拡大により高級品の低価格化が進み国内市場でより激しい環境に立たされているアパレル関係では、多品種少ロット対応、付加価値の高い商品と加えてスピードが求められている。

状況、事業概要

中国を中心とした海外生産の拡大により国内生産が激減し、加工賃の低下にともなって工場規模の縮小、やむなく廃業するなど非常に厳しい環境が続いている。

国の政策で自立支援事業を通して商品開発に力を入れ、この不況下を何とか脱出すべく努力している。

今後の課題

商社を含む、アパレル業界で国内生産が減っているなかで、産地が抱える課題をクリアすべく情報の共有化とグループ化を早く構築し、業界の安定受注を図る必要がある。

東日本編レース工業組合

商品、消費者のニーズの変化について

一般的な商品は海外より入ってきてている。日本の消費者は必要な物しか買わないようになった。今後の製品作りでは世界に通用する商品でオノリーワン商品を数多く開発する必要がある。

状況、事業概要

生産量は、15～20%ダウンと思われる。単価では、主に中国製品が安く、日本製品は値下がりが止まらないため、今後は賃金の引き下げを行うしかない所まできたと思われる。

今後の課題

各企業が自社しかできない商品づくりに進むしかないと考えられる。

今後は、価値ある商品づくりが特に必要であると思われる。

桐生意匠組合

状況、事業概要

前年比 減少して95%。

桐生、東京は増加、山梨が減少。

帯地、洋反が増加、インテリアが10%減少。金襷が少量増加し輸出は減少した。

今後の課題

当組合形態は100%受注による。

仕事量の確保が難しい。

桐生紋紙組合

状況、事業概要

平成15年度はドビー調の柄が主流のため、意匠紋紙の使用が激減したように思われます。特にエンドレス紋紙使用の高速織機の不稼働。

今後の課題

紋紙に対しては帯、金欄人形、御守り表具等（K型、E R、S R）用は微減。

上記の（洋反、インテリア）のエンドレスは激減。

桐生刺繡商工業協同組合

商品、消費者のニーズの変化について

技術、開発力を必要とされている刺繡はマーキング加工の一部にすぎないため、トータルに関連し、かつ顧客のニーズにあった加工が望まれている。

オリジナル技術ができる、何でも対応できる刺繡店、インターネット顧客など。

状況、事業概要

量産品は特に海外となっている。完全に国内生産の空洞化減少がはっきりと明確に現われ、国内においては特殊刺繡、小ロット化が当然のようになった。

商品単価の低下、需要の停滞。

今後の課題

新しい事業ビジョン、方向性を持ち、企画、提案型取引きへの転換。

新しい技術の開発、異業種交流、アパレル以外の刺繡需要の喚起、研究開発チャレンジ、修正構築を行う。

地域に密着した特殊用途の開拓、グループ化の提携、インターネットの対応。

情報化の推進等、できる限り取り組んでいきたい。

桐生織物買継商友会

商品、消費者のニーズの変化について

①永引く不況により経済的に生活環境が厳しさを増す中で、必要以外の品は求めずライフスタイルに変化がでてきた。

②購入には二極化が進むとともに、個性化がはっきりと現れ今後更に進むと思う。

状況、事業概要

①各季節別の商品のスタートが鈍く、始まりが遅れてきている。

商品全般にわたり発注数量が細かく短納期を要求される。

②卸商社間の競争が激化を増し、値押しと同類商品には価格の安い商品に一部移行している。

③秋冬物の小売店展示会には消費者が会場に出向いてくれない。

④新商品を生み出す環境にはないが、提案してみても川上（下請け）業者の廃業、転業にともない現状の商品づくりで精一杯である。

今後の課題

- ①時代に合う物づくりと、従来の固定観念に捉われない物づくりが必要に思われる。
 - ②新製品開発にはリスクが伴うが、反面、販売、売上げに寄与するところが大きい。
 - ③卸商社の販売競争が激しさを増す中で、従来の商品、同類の商品は価格維持できない。
 - ④当組合においては、4年前より他業種業者の企業訪問による研修を実施している。
- 新しい視点に立った物づくりに活用し会員それぞれオリジナル商品開発に役立てている。

桐生テキスタイル商業グループ

商品、消費者のニーズの変化について

決定的なヒット商品のない時代です。ファッショングサイクルが目まぐるしく、また、多様な傾向の中、市場の中から絞って先物の企画をするのが難しい時代になりました。

状況、事業概要

消費動向の多様化、先物見通し不安のため、発注が極端に少量、期近な今までにない苦しい受注状況でした。

この傾向は一時的なものではなく、基本的には、現代の標準傾向と考えるべきかと思います。

今後の課題

激変する社会構造により、従来の経験、価値観で今後の方向を組み立てる事の不可能な時代です。

産地としてグロスに言う事が難しく、その立場、立場で置かれている環境から先に対する対応を考える時代のような気がします。

桐生和服裁縫組合

商品、消費者のニーズの変化について

古いきものの洗い張りをして仕立て直しが増えている。

例えば、きものを羽織に直す。または、古い帯を洗い張りをして仕立て直すなど、古き良き物が出回っている。

状況、事業概要

全体的仕立物は下降ぎみであった。

今後の課題

以前の待ちのスタイルの仕立ての形態ではなく、如何に仕立てをPRするか、また如何に付加価値をつけるか。

着物を着るお客様の声を聞き、肌で感じ、お客様のニーズに答える仕立て、心の通う仕立てを日本の着物だからこそ私たちの感性で、私たちしか出来ない、海外縫製との差別化を打ち出して行きたいと考えます。また、私たち自ら着物ファンの掘り出しにも努力したいと思います。

桐生市纖維振興協会加盟団体名簿

(平成16年3月31日現在)

団体名	代表者名	所在地	電話
桐生織物協同組合	柿沼洋一	桐生市永楽町5-1	0277-43-2511
桐生商工会議所纖維部会	塚本祐平	" 錦町3-1-15	0277-45-1201
桐生染色協同組合	塚本祐平	新田郡笠懸町阿左美470-19	0277-40-5152
桐生纖維製品協同組合	大川泰正	桐生市広沢町2-3368 大丸縫製(株)内	0277-54-1611
桐生織物産地元壳組合	木村俊一	" 相生町2-230-1 (株)小野木商店内	0277-53-5131
桐生糸商組合	佐藤剛司	" 巴町2-1832 佐藤(株)内	0277-44-3135
桐生刺繡商工業協同組合	荻野正男	" 永楽町6-6	0277-22-7919
東日本編レース工業組合	中野隆雄	" "	0277-22-3847
桐生意匠組合	大澤純一	" 永楽町5-1 桐生織物(協)内	0277-43-2511
桐生紋紙組合	丹羽弘始	" 小梅町6-34	0277-44-7250
東毛ジャカード刺繡協同組合	西村千春	" 新宿3-7-34	0277-43-1166
桐生織物買継商友会	島崎英三	" 本町1-3-18 島崎商店内	0277-47-4000
シルク・ルネッサンス桐生	青木軍次	" 広沢町4-2423-1	0277-54-2584
桐生テキスタイル商業グループ	木島清	" 永楽町5-1 桐生織物(協)内	0277-43-2511
桐生織伝統工芸士会	新井實	" 永楽町5-1 桐生織物(協)内	0277-43-2511
桐生和服裁縫組合	山本文江	" 巴町2-1810-17	0277-43-2244

事務局 財團法人 桐生地域地場産業振興センター内

〒376-0024 桐生市織姫町2番5号
TEL (0277) 46-1011 (代表)
FAX (0277) 46-1014